



大寺薬師仏像拝観

林木の寺院の中で最も古い大寺薬師の創建は、594年（推古2年）です。これは、北山山地の日本海側に位置する別所町の鰐淵寺（がくえんじ）の創建と同時期であると考えられています。

伝承では、智春上人によって創建され、741年（天平13年）に僧行基が諸国巡歴の途中「大寺」に留まって薬師如来をはじめ多くの仏像を刻み、金堂、阿弥陀堂、釈迦堂、観音堂、七重大塔等を建て、諸仏を安置し護国の道場としたと言われています。

往時の「大寺」は、現在地より三百メートル奥の通称「広瀬」にあったと言われていますが、1650年（慶安3年）の大洪水による山崩れのため、寺堂、仏像の多くが破壊、埋没しました。その後、地域住民たちが薬師如来坐像ほか残存の仏像を集め、現在地の万福寺境内に三間四面の薬師堂を建立し安置しました。

薬師堂には、薬師如来坐像1体、脇侍菩薩立像4体、四天王立像4体、合わせて9体が明治35年に国宝に指定されたが、戦後に法律が変わり国指定の重要文化財となり祀られています。また、これらの仏像と共に、十二神将も揃って祀られています。

取り分け、四天王立像（広目天立像、持国天立像、増長天立像、多聞天立像）は、いずれもカヤノ木の一木造りで等身を超える雄大な立像です。これらの仏像は、天平様式を残した出雲様式と言われ、美術的にも優れた策であるということが学会の定説となっています。

なお、大寺薬師は全国に誇る美術品ともいふべき仏像を安置している寺院であるにもかかわらず、その創建についての根拠等を伝える文書物件は何ひとつありません。

【鳶巣地区の郷土史「ふるさと鳶巣物語」から】

【大寺薬師仏像収蔵拝観】

■場所：島根県出雲市東林木町416

■拝観時間：夏季（4月～9月） 午前8時～午後5時
冬季（10月～3月） 午前9時～午後4時

■拝観希望：前日までに事前予約をお願いします。

◆携帯 090-8717-7903 (管理人…中島)

※不在の場合

◆携帯 070-4388-4209（鳶巣コミュニティセンター）

■拝 観 料：大人…５００円、小・中・高校生…２００円（幼児無料）
大人の団体（１５人以上）…３００円、小中高生の団体…５０円
障がいのある人…１００円

■ 拝観：収蔵庫に安置されている仏像については、説明CDを聞きながら理解を深めてください。四天王立像は、令和2年に東京国立博物館で開催された日本書紀成立1300年特別展「出雲と大和」に出品されました。収蔵庫内では、仏像の後方に回ることができ、360度から拝観できます。

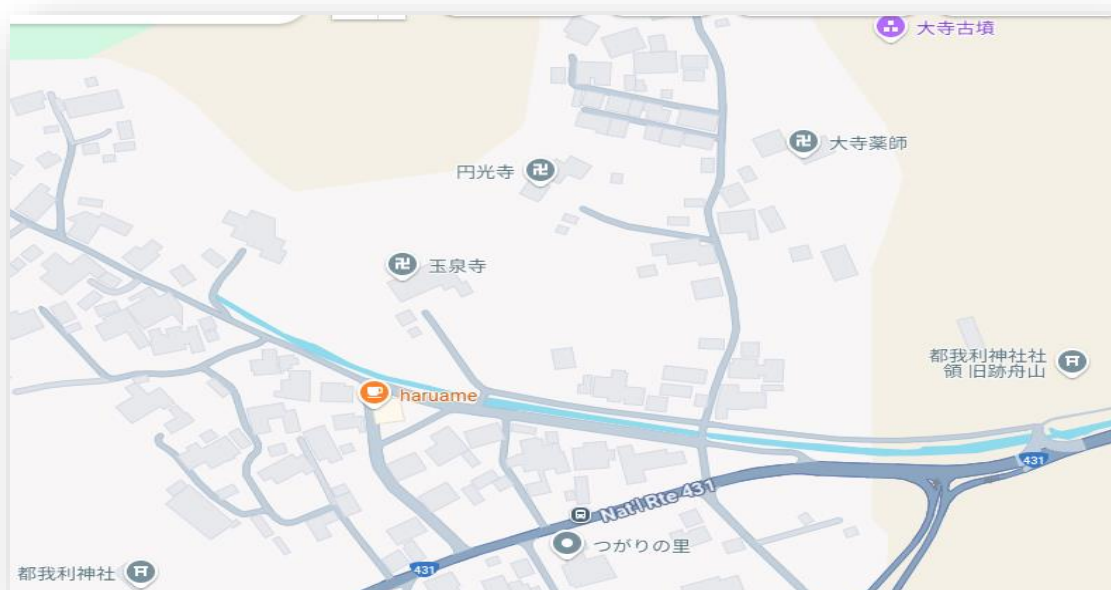


■ 駐 車 場：普通車6台程度（無料）

観光バス・マイクロバス…要相談

■アクセス：一畑電鉄大寺駅から徒歩10分

【收藏庫內部】



Map へのリンクはこちら！